



ほんなこて**ゆたたり**

文責 校長 平井 敏博

【令和6年度学校教育目標】
大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”
～生涯学びの基礎づくり～

“多良小学校のきまり”について ～学校、家庭の共通理解があつてこそ～

先日、キーホルダーのことでご質問いただきました。

学校としては、『学習に関係のない物や余分な学用品は持って来ません。(持ち物にキーホルダーやシールをつけません。)]』としております。

学用品以外の私物の持ち込みによる破損、紛失等を未然に防ぐ策だと考えます。ご理解とご協力をいただければ有難いです。

一方、周知が十分でなかったり、きまりの意図や根拠が共有できておらずご迷惑をおかけしたりすることもあるようです。疑問や不明な点等も、遠慮なくお知らせ下さい。

学校のきまりは、安全・安心と教育活動が滞りなく進むことを意図して決めています。職員が一致して取り組むための指導の“よりどころ(方針)”でもあります。しかし、実際にうまく機能しているかどうかをふりかえりながら、改善していくことが必要です。時間が経って、見直す必要がある場合もあります。今回、質問を受けて、学校のきまりを整理する必要性も感じています。

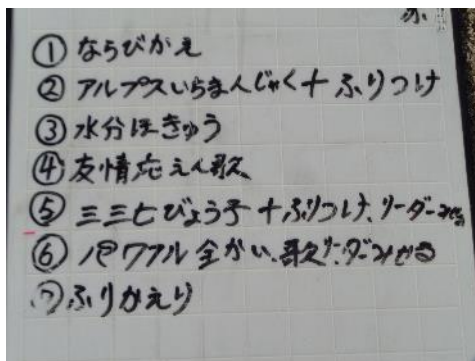
「なんで、こんなきまりがあるとやろか?(なぜ、このようなきまりがあるのだろうか?)」と思われることもあるかもしれません。ご質問・ご意見をいただいた時は、再度職員で話題にして、そのきまりの意図を確認しております。場合によっては、変更することが必要な場合もあるかもしれません。

※ 参考までに、年度はじめに配布している校内、校外のきまりをデータで添付しております。これを“話の種”にして、“ひっきやで子育て茶話会”もできそうです。

子ども達にとって、有意義で活発な教育活動を展開していきたいという我々全職員の気持ちに何の偽りもありません。保護者の皆さんと同じ思いだと思います。しかし、具体的な方策のことになれば、違いが出てくることもあります。意見交換や調整が必要です。今後ともよろしくお願いいたします。

いよいよ運動会に向けて活動開始！

～ 気候もベストに近づいてきました。～



写真は、運動会の練習の様子です。全員での開閉会式の練習や、各団に分かれての応援練習、そして、学年グループの団体演技等、毎日子ども達は汗を流しております。

運動会には、運動会だからできる教育的な価値があります。写真でも分かるように、団をまとめて指導する場面では、高学年の子ども達が“自分事”として知恵を絞り、協力してやっています。“他人事”になって、どこか無責任になってしまうような状況とは、全く違います。これこそが“学び”の始まりです。主体的でない“学び”はないと考えます。

本日、高学年のダンスを運動場で初めてみました。実に楽しそうです。“やらされ感”を感じられません。

ただし、観客の皆さんを楽しませ、元気を与え、感心してもらう“演技”として見るならば、完成度はまだまだです。来週には、さらにレベルアップするだろうと期待しております。

全学年の子ども達が、精一杯がんばる姿をお見せできるように全職員もがんばっております。お楽しみに。